

令和4年4月15日 環境委員会追加資料

【所管事務の調査（報告）】

川崎市バス事業経営戦略プログラム（後期計画）の策定について

〈追加資料〉

市バスの車検整備自家化について

交 通 局

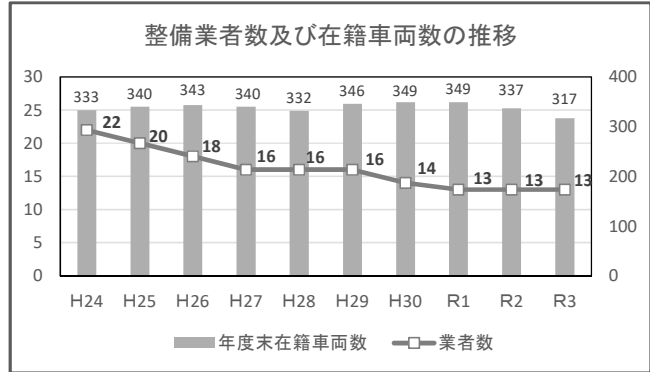
市バスの車検整備自家化について

1 市バスの車検整備

- 市バスの車検整備外注化
 - ・市バスでは、昭和56年度から全車両の車検整備を外注化

○市バスの車検外注後40年余りが経過し
外注業者の状況が変化

- ・整備業者の減少
 - 整備士不足、後継者問題等による減少
 - 市バスの車検整備対応可能業者22社→13社
- ・北部(鷲ヶ峰営業所)対応業者不足の深刻化
 - 南部(塩浜営業所)対応業者まで回送して
 - 車検整備を行うなど非効率な状況が発生



2 車検整備の自家化の導入

- 整備業者の減少
 - ・さらなる整備業者の減少が推測されることから、計画的かつ確実な車検整備業務に支障が生じ、バスの運行に影響を与える恐れがある。

- 車検整備の自家化により、安定的な車両整備実施体制を確保
 - ・車検整備自家化の取組
 - 自家車検整備実施に向け、施設、人員等の準備を進め、令和元年度から段階的に実施
 - 外注業者の動向に注視しながら、計画的な人員確保を行い、直営営業所で車検整備の自家化を推進

3 車検整備費用

○各年度車検整備実績

車検種別	令和元年度		令和2年度		令和3年度(見込み)	
	実施車両数	費用	実施車両数	費用	実施車両数	費用
外注車検整備	316	71,860千円	263	56,719千円	287	58,418千円
自家車検整備	30	3,725千円	81	9,722千円	50	6,041千円
計	346	75,585千円	344	66,441千円	337	64,459千円

※車検整備費用には、外注、自家車検整備とも部品代は含まない。(部品は外注、自家とも局で調達)

※外注車検整備費用は車検整備に係る外注業者への支払い総額であり、自家車検整備費用は自家車検実績作業時間に整備員の平均時間単価を掛けて算出

4 川崎市バス事業 経営戦略プログラム(後期計画:R4~R7)における考え方

市バス車両の車検整備を外注している民間整備事業者の減少を踏まえ、将来にわたって安定的な車両の整備を推進するため、車検整備の自家化の推進、整備員の着実な採用、整備技術の継承による技術力の向上など、引き続き、バス車両整備業務における体制の充実・強化を図ります。
(事業17「持続可能な事業運営に係る組織体制の構築」に記載)